

社会保障審議会
介護保険部会（第93回）

資料 1

令和 4 年 5 月 16 日

今後の検討の進め方について

厚生労働省 老健局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

- 前回の制度改正に向けた本部会では、地域共生社会の実現と2040年への備えという観点から、
 - ・介護予防・健康づくりの推進（健康寿命の延伸）
 - ・保険者機能の強化（地域保険としての地域のつながり機能・マネジメント機能の強化）
 - ・地域包括ケアシステムの推進（多様なニーズに対応した介護の提供・整備）
 - ・認知症施策の総合的な推進
 - ・持続可能な制度の構築・介護現場の革新を主な柱として、制度見直しに向けた報告を行った。

- 次期制度改正に向けては、2040年に向けて生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれる中で、
 - ・2025年に向けて構築を図っている地域包括ケアシステムを更に深化・推進するとともに、
 - ・介護ニーズの増大と労働力の制約への対応を両立させ、制度の持続可能性を確保するという視点に基づきつつ、過去の部会報告や全世代型社会保障構築会議での論点、前回の部会でのご意見等を踏まえ、例えば次頁に掲げるような点について順次議論することとしてはどうか。

当面検討を行う論点

◎地域包括ケアシステムの更なる深化・推進

- ・在宅・施設を通じた介護サービスの基盤整備、住まいと生活の一体的な支援
- ・医療と介護の連携強化、自立支援・重度化防止の取組の推進
- ・認知症施策、家族を含めた相談支援体制
- ・地域における介護予防や社会参加活動の充実
- ・保険者機能の強化

◎介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進

◎給付と負担

◎その他の課題

※検討項目については、今後の議論に応じて見直す。